

令和6年度 農作物病虫害発生予察8月月報

令和6年(2024年)9月3日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	30.6	28.0	2.6	37.6	33.4	4.2	26.1	24.0	2.1
8.2	30.3	28.0	2.3	37.4	33.3	4.1	24.9	24.0	0.9
8.3	29.5	27.7	1.8	37.2	33.0	4.2	24.7	23.8	0.9
8.4	29.9	27.3	2.6	36.0	32.6	3.4	25.8	23.4	2.4
8.5	30.2	26.9	3.3	36.3	32.1	4.2	26.6	22.9	3.7
8.6	27.5	26.3	1.2	31.6	31.5	0.1	25.5	22.4	3.1
平均・計	29.7	27.4	2.3	36.0	32.7	3.4	25.6	23.4	2.2
月・半旬	降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
8.1	3.5	27.8	△ 24.3	40.3	34.8	5.5			
8.2	-	27.1	-	53.8	34.1	19.7			
8.3	0.0	31.6	△ 31.6	47.1	32.0	15.1			
8.4	0.0	34.9	△ 34.9	41.0	30.5	10.5			
8.5	9.0	35.0	△ 26.0	39.4	29.5	9.9			
8.6	205.0	42.6	162.4	33.0	33.6	△ 0.6			
平均・計	217.5	199.0	45.6	254.6	194.5	60.1			

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 極早生～早生品種の出穂期は、平年に比べやや早くなった。
中生～晩生は、茎数は平年並～やや少なく、出穂期は平年並～やや早くなった。
- (2) ダイズ : 6月播種の開花期は概ね平年並。8月以降は、気温が高く、降水量も少ないため、一部ほ場では落花・落莢が見られた。
- (2) カンキツ : 果実肥大は、梅雨明け後無降水が続いたものの着果量が少ないことから、平年並からやや大きく推移している。
果実分析結果（一部産地）では、糖度は平年に比べ高く、酸度は低く推移している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2024年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ いもち病(葉いもち) (調査ほ場数：上旬56、 下旬24)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年24.9%)、発病株率7.4% (平年 10.9%)、発病度1.8(平年2.9) で平年 並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年19.2%)、発病株率0.7% (平年 7.0%)、発病度0.2 (平年1.9) で平年 に比べやや少なかった。	県内全域	中 441
			少 2,648
			計 3,089
いもち病(穂いもち) (調査ほ場数：上旬31、 下旬66)	初発生は、8月6日(平年8月12日)に 柳井市で確認し、平年に比べ早かった。 上旬の巡回調査では、発生ほ場率19.4% (平年4.0%)、発病株率2.8% (平年 0.8%)、発病穂率0.1% (平年 0.1%)、被害度0.0 (平年0.0) で平年 に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率12.5% (平年18.5%)、発病株率1.7% (平年 3.6%)、発病穂率0.4% (平年0.7%) 発病度0.2 (平年0.5) で平年に比べやや 少なかった。	県内全域	少 3,089
紋枯病 (調査ほ場数：上旬81、 下旬78)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率18.5% (平年10.7%)、発病株率1.3% (平年 1.3%)、発病度0.4 (平年0.3) で平年 に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.2% (平年22.6%)、発病株率2.2% (平年 3.3%)、発病度0.7 (平年1.2) で平年 並みであった。	県内全域	少 3,310
ごま葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率8.6% (平年12.8%)、発病株率5.5% (平年 4.0%)、発病度1.4 (平年1.0) 平年に 比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.5% (平年22.5%)、発病株率10.4% (平年 10.1%)、発病度2.6 (平年2.5) で平年 並みであった。	県内全域	中 883
			少 4,193
			計 5,076
縞葉枯病	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.1%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.2%)、発病株率0% (平年 0.0%) で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イネ 白葉枯病、黄化萎縮病、萎縮病	上旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	
稲こうじ病 (調査ほ場数：下旬38)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6% (平年0.9%)、発病株率0.1% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	221
もみ枯細菌病 (調査ほ場数：上旬25、下旬49)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、発病株率0% (平年0.1%)、発病穂率0% (平年0.0%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年2.0%)、発病株率3.1% (平年0.2%)、発病穂率0.1% (平年0.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	441
ツマグロヨコバイ (調査ほ場数：上旬81、下旬78)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率14.8% (平年23.9%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年0.4頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.5% (平年15.6%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	中 少 計	221 2,427 2,648
セジロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率24.7% (平年51.0%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年21.5頭) で平年に比べ少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.3% (平年38.1%)、10株当たり虫数0.5頭 (平年7.9頭) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少	4,413
トビイロウンカ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率3.7% (平年18.3%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年3.1頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.9頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.6% (平年31.7%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年31.2頭)、10株当たり短翅型成虫数0.0頭 (平年0.4頭) で平年並みであった。	県内全域	少	662
コブノメイガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率63.0% (平年27.4%)、被害株率9.6% (平年7.4%)、被害葉率0.3% (平年0.6%)、20回払い出し虫数0.9頭 (平年0.7頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率64.1% (平年26.8%)、被害株率19.3% (平年8.9%)、被害葉率1.0% (平年0.6%)、20回払い出し虫数3.4頭 (平年0.8頭) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 中 少 計	221 441 10,372 11,034

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イチモンジセセリ (イネツトムシ)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2% (平年2.9%)、10株当たりつと数0.0個 (平年0.0個)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.1%)、10株当たりつと数0個 (平年0.0個)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 221
ニカメイガ	上旬及び下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
フタオビコヤガ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率2.5% (平年0.7%)、10株当たり虫数0.0頭 (平年0.0頭)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭)で平年並みであった。	県内全域	少 441
イネヨトウ	上旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.2%)、25株当たり虫数0頭 (平年0.0頭)で平年並みであった。	—	—
イネクロカメムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.3%)、25株当たり虫数0頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率1.3% (平年1.2%)、25株当たり虫数0.0頭 (平年0.1頭)で平年並みであった。	県内全域	少 221
イネカラバエ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
斑点米カメムシ類 (調査ほ場数：上旬33、 下旬44)	上旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回 すくい取り調査では、発生ほ場率75.8% (平年62.7%)、虫数8.3頭 (平年2.5頭) で平年に比べ多かった。主要種はイネカ メムシ、クモヘリカメムシであった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)における20回 すくい取り調査では、発生ほ場率76.6% (平年60.8%)、虫数3.2頭 (平年2.2頭)で 平年に比べやや多かった。主要種はイネ カメムシ、クモヘリカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯(県内3か 所)の誘殺数は、2,026頭 (平年1,607 頭)で平年に比べやや多かった。内訳は クモヘリカメムシ541頭(多：平年134 頭)、アカスジカスミカメ1,074頭(平年 並：平年1,160頭)、アカヒゲホソミドリ カスミカメ105頭(平年並：平年142頭)、 ミナミアオカメムシ30頭 (平年並：平年 20頭)、イネカメムシ276頭(やや多：平 年152頭)であった。	県内全域	多 662 中 3,089 少 4,193 計 7,944

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
ダイズ べと病 (調査ほ場数：20)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年41.8%)、発病株率16.2% (平年30.1%)、発病度4.7 (平年7.7) で平年並みであった。	県内全域	少	369
葉焼病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年10.6%)、発病株率4.0% (平年3.8%)、発病度1.0 (平年1.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	184
立枯性病害	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.9%)、発病株率0% (平年0.2%) で平年に比べ少なかった。	—	—	—
褐色輪紋病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.2%)、発病株率0% (平年5.8%)、発病度0 (平年1.4) で平年並みであった。	—	—	—
吸実性カメムシ類 (調査ほ場数：上旬16、 下旬20)	上旬の巡回調査では、発生ほ場率68.8% (平年36.6%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年0.3頭) で平年並みであった。主要種はアオクサカメムシ、ミナミアオカメムシであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年40.9%)、1㎡当たり虫数0.3頭 (平年0.3頭) で平年に比べやや多かった。主要種はホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシであった。 7月26日～8月25日の予察灯 (県内3か所) の誘殺数は46頭 (平年66頭) で平年並みであった。内訳はアオクサカメムシ13頭 (平年並：平年36頭)、ミナミアオカメムシ30頭 (平年並：平年20頭)、イチモンジカメムシ3頭 (やや少：平年10頭) であった。	県内全域	少	553
フタスジヒメハムシ	上旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平年56.6%)、1㎡当たり虫数0.7頭 (平年2.1頭) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率85.0% (平年68.2%)、1㎡当たり虫数4.1頭 (平年10.4頭) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多	138
			中 少 計	369 277 784
ウワバ類、オオタバコガ等の チョウ目	上旬の巡回調査では、発生ほ場率75.0% (平年72.5%)、1㎡当たり虫数1.1頭 (平年1.0頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年79.3%)、1㎡当たり虫数1.0頭 (平年1.2頭) で平年並みであった。	県内全域	多	46
			中 少 計	277 323 646

2 果樹

2024年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年8.7%)、発病果率4.6% (平年0.5%)、発病度2.0 (平年0.2) で平年並みであった。	県内全域	中	110
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.1% (平年11.5%)、発病果率3.9% (平年0.5%)、発病度2.4 (平年0.3) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少	164 274
			計	438
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率63.2% (平年69.1%)、発病果率13.5% (平年17.2%)、発病度6.6 (平年4.1) で平年並みであった。	県内全域	中 少	164 493
			計	657
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年39.6%)、寄生葉率9.3% (平年8.8%) で平年並みであった。一部で多発ほ場が認められた。	県内全域	多 中 少	55 110 110
			計	275
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—	—
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年12.3%)、被害果率0.1% (平年0.4%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	55
ナシマルカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年29.2%)、寄生果率1.5% (平年2.3%) で平年に比べやや少なかった。	県内全域	多 少	55 110
			計	165
イセリアカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年5.4%) で平年並みであった。	県内全域	少	55
ヤノネカイガラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少	55
ルビーロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年1.2%) で平年並みであった。	—	—	—
ツノロウムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.6%) で平年並みであった。	—	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.4%)、寄生新梢率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	—

2024年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ ナシヒメシンクイ	7月26日～8月25日のフェロモントラップ(県内2か所)における誘殺数は61頭(平年65.3頭)で平年並みであった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオカ メムシ、クサギカ メムシ)	7月26日～8月25日の予察灯(県内4か所)における誘殺数は864頭(平年553頭)で平年に比べやや多かった。 主要種はチャバネアオカメムシであった。 7月26日～8月25日のフェロモントラップ(県内3か所)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は25,882頭(平年1,262頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—

3 野菜

2024年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																		
野菜、花き類 アブラムシ類	防府市牟礼の黄色水盤トラップ(8月1日～31日)の誘殺数は43頭(前年101頭)であった。	県内全域	—																		
ハスモンヨトウ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は4,314頭(前年3,630頭)であった。 7月21日～8月20日のフェロモントラップ(県内5か所)の誘殺数は5,146頭(平年4,236頭)で平年並みであった。 <u>フェロモントラップでの誘殺数(頭)</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>2,130</td> <td>1,378</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>466</td> <td>693</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>11</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,080</td> <td>688</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>1,459</td> <td>1,377</td> </tr> </tbody> </table> ※7月21日～8月20日の合計	地点	本年	平年	周南市熊毛	2,130	1,378	山口市阿東	466	693	萩市明木	11	100	下関市清末	1,080	688	柳井市伊陸	1,459	1,377	県内全域	—
地点	本年	平年																			
周南市熊毛	2,130	1,378																			
山口市阿東	466	693																			
萩市明木	11	100																			
下関市清末	1,080	688																			
柳井市伊陸	1,459	1,377																			
オオタバコガ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は33頭(前年55頭)であった。	県内全域	—																		
シロイチモジヨトウ	8月1日～31日のフェロモントラップ(防府市牟礼)の誘殺数は88頭(前年74頭)であった。	県内全域	—																		
コガネムシ類	7月26日～8月25日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は169頭(平年246頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																		

お問い合わせ先
 山口県農林総合技術センター(山口県病害虫防除所)
 TEL (0835)28-1211(代)
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp